

スタッフ情報局

こんにちは。サービススタッフの大島絵里です。
今回は私がおすすめ的美術館とおそば屋さんをご紹介します。

私の美術館

那須街道から2kmほど入った
静かな場所にあります。

このきみくお
私の美術館は、芸術家「此木三紅大」
氏を総合的に紹介する個人美術館
です。

絵画、鉄のオブジェ、ステンドグラス
…ジャンルを越えた作品群に人生の
大先輩の厚み、深さを感じます。
かわいい鉄のオブジェたちのお出
迎え。



支配人と玄関で…

喫茶室もありますが、ここは帰りに寄るとして、まずはA館。
ここは企画展示室です。そしてB館、C館が常設展示室。



これが「豁天(かってん)」です

特にC館の代表作「豁天(かっ
てん)」をはじめとする、1000
号、2000号の大作にはただ
息をのむばかりです。
吸い込まれそうな大迫力でち
っぽけな自分を感じてしま
います。



「東方へ」

でも私が一番好きなのはB館。
支配人の大山さんは、「ここは好み
の分かれる館ですね。」とおっしゃ
っていましたが、私は大好きです。
特に「東方へ」という作品です。シル
クロードをイメージした絵巻物語

で、小さな絵を430枚もはり合わせてひとつの絵画にしてい
ます。

天女や妖怪、怪物がグラデーションにえがかれており、見て
いるととても楽しい気分になる作品です。

またB館に展示さ
れているガラス絵
を体験できます。
ガラス絵の特徴は
裏側から絵を描い
て色を重ねていく
ため、左右、順序
を逆に描いていく
という特殊な技法
が楽しめます。



ガラス絵制作中



ガラス絵完成です

約60分。1,500円(材料費込)

また作品は、額装して当日お持ち帰りできます。

大山支配人にうかがったところ
カップルでいらした場合は、女性の方
が誘って男性はいいいや始めるらし
いのですが、最後の方は男性の方が
熱中してこだわった作品を仕上げ
てるようです。

私達の場合も菊池先輩がすっかりは
まってしまいました。

疲れたら中庭の見渡せる喫茶室で一
休み。

おすすめの生ぶどうジュース(500円)
を飲みながら、余韻にひたるのもい
いですね。

ご宿泊のお客様に此木三紅大氏作
品をプリントした
ポストカード引き換え券をお渡し
いたします。

- 開館時間 AM9:30~PM5:00
- 年中無休(冬期臨時休館数日あり)



中庭の見渡せる喫茶室

蕎麦 小椋

りんどう湖へ下る道の途中の
細い道に入ってすぐです。
石段をのぼり、中に入ると、
笑顔のすてきなおかみさんが
出迎えてくれます。



まずは店内のあったかい空間
に蕎麦への期待が高まります。
ゆったりした店内に席数はわ
ずか。ひとりひとりのお客様
を大切にするお店の気持ちが
伝わってきます。

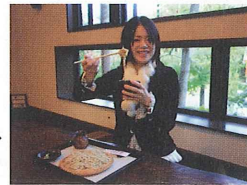


落ち着いた店内です

どの席もいいですが、ふたり
でいくなら窓に面した席が
おすすめです。

外の景色を眺めながらいただくお蕎麦はまた格別です。

小椋さんの蕎麦
は香りの高い
常陸秋蕎麦を
毎朝自家製粉、
那須の美味し
い水を使って



大好きなとろせいろ(大盛)



ご主人、おかみさんと

打ちあげているということです。

冬はあったかいお蕎麦もおすすめですが、私は蕎麦の味がよ
くわかる冷たいせいろをいつも大盛りでいただきます。

- 営業時間 午前11時~午後3時くらい(そば売り切れまで)
- 定休日 水曜日(2月までは木曜も休みの場合あり)

ほ。とひと息フォトコーナー(カメラマンのひとりごと)

今回は山水閣の宿猫「ゴンベ」をご紹介します。

黒いマスクとかわいらしいチョビヒゲがトレードマーク。人見知りかはげしく、お客様の前には
めったに顔を出しません。すが、天気の良い日は中庭で日なたぼっこしています。

気まぐれな「ゴンベ」ですが、今回は無理を言って撮影に協力してもらいました(笑)。

会いたくなかった方は、どうぞ山水閣まで。

さてさて、ゴンベは山水閣の「招き猫」になることができるだろうか？

菊池 悟

